

女優 小山明子

今日も二人で夫・大島渚監督の介護の日々



1935年1月27日千葉生まれ、横浜鶴見育ち。二人の男の子の母。現在77歳。2011年10月に金婚式をあげ、二人で思い出の曲「有楽町で逢いましょう」をデュエットした。松竹映画「ママ横をむいてて」で女優デビュー後、数々の作品に出演。1996年、夫である大島渚監督がロンドン出張中、脳出血で倒れた。「もう一度映画を撮りたい」という願いを叶えるため、二人三脚で歩んだりハビリの日々。女優業から介護という立場に。介護壽を何度か経験し、乗り越える。

大島は後遺症で右の手足、言葉に麻痺が残ったが、仕事に絶対に復帰するんだ、精一杯生きよう、そんな願いが届いて、映画「御法度」で再起。しかし、再び十二指腸潰瘍穿孔(かいようせんこう)に襲われる。

介護の厳しさと喜びを知りながら、ひた向きに夫と向き合ってきた体験、介護を通じて学んだことが多い。彼女の体験談は聞くもの皆に勇気と感動を与えてくれる。

夫の大島渚監督が英国ロンドンで脳出血で倒れ、三週間英国の病院にいた。右半身が全くマヒ、言語障害を持った。脳疾患は30分が勝負。彼は早く病院に行き助かった。日本に戻ってからは日本の病院に…あまりの環境の変化に自分は介護壽になってしまった。自分では正常と思っていたが、息子が無理やり入院させた。一ヶ月、病院にいた。

大島の介護、リハビリのため、自宅はタタミの生活からフローリングに変えた。車イスをリースで借りた。介護は住み込みのおばちゃんと家政婦に週6日きってもらった。病院から大島には一日1200キロカロリーでやってくれ…に驚いた。いままで食事の準備をしたことがなかったので…。大島は朝から酒を飲むような人。オーバーワーク、ストレスと過信がもとで倒れた。高血圧・糖尿などを配慮した献立を考えた。彼はリハビリをしっかりしてくれた。リハビリは本人のやる気と家族のサポートが鍵。大島は大磯東海病院のリハビリメニューを真面目にやっていた。紙コップの上に紙を置く…八つ当たりもせず黙々と、感謝の言葉を言っていた。自分はカロリーに振り回され介護壽にかかってしまった。大島は一日300グラムの野菜を採る必要があり、色々な野菜を煮てスープをつくった。自分は介護壽で四回入院を繰り返した。うつ病の特色は「食べられない」「眠れない」です。その後大島は職場復帰が出来た。訓練を重ね、TVIにでるまでになった。

その後、大島は肺炎で入院。同時期、お手伝いさんが心筋梗塞で入院。二人が入院し動転したが、鶴沼に住む近所の人々が助けてくれた。一主婦として公園掃除、花見に参加したりしていたことがよかった。64歳で近所デビュー。

ある時、大島が病院でリハビリしている時、車椅子の夫人が私に近づいてきて、あなた「あそこでリハビリしているのは映画監督の大島渚さんよ！」と言って立ち去った。自分が64歳の時だった。ハットした。自分が小山明子とわからなかったみたい…GパンにTシャツ、白髪に化粧なし。これではいけないと感じ、お洒落を心がけ、水泳教室、ヨガ教室などに通い始めた。外に目がむいてから壽は少しずつ治ってきた。今でも週一回、水泳教室に通っている。継続は力。64歳で初めて現在は77歳。いつも事前に血圧をはかってから水に入る。160位だと入るが、170を越えると水には入らない。2年間、料理教室にも通った。

一時、女優業に復帰したが、大島が再度、入院することになった。十二指腸潰瘍で体中チューブで長期病院にいた。その時、「生きるって大変なことだ」と思った。大島は失語症になってしまい言葉がでない。病室には絶えずCDの音楽を流していた。ベッドの横でそれはそれは沢山の本を読み、生きるヒントを得た。

いい言葉に出会った。星の王子さまにでてくる「大切なものは目に見えない…」上杉鷹山が息子に家訓で残した「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」山本五十六元帥の「やってみせて、言ってみせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」

十二指腸潰瘍の退院後、大島は再度リハビリを開始。ただ寝たきりではダメでしょう……………？

最近、介護は一人でやらず人に頼んだら任せることにした。その間、自分は美容院にいったり気分転換をしている。

大島は今、オムツの生活。人間、食べたらずシッコ、ウンチがでるのは当たり前。

幸せの基準ですが、病院でクダにつながっていた大島が退院。リハビリし、自宅で今日一日楽しく生きていてくれたら良い…と思うようになってきた。人は誰でも、いつか必ず死ぬんだから！

今は、皆があきらめるくらい生きよう、長生きしようと思っている。健康だと、有難味がわからないのね…人間いくつになっても新しいことにチャレンジできることをお伝えしたい。

カキケコのコの精神を日常の生活の中で実践しています。「カ」は感謝することに照れない。「キ」は緊張感を楽しむ。「ク」はくつろぐ。「ケ」は決断力。「コ」は好奇心を持ち続けること。